

「銀河鉄道」が旅する満天の星空～南十字星を見てみよう～

松江星の会 安部裕史

★宮沢賢治

1896 (明治 29) 年 8 月 27 日 - 1933 (昭和 8) 年 9 月 21 日 (37 歳)

1915 (大正 4) 年 19 歳 盛岡高等農林学校 入学

1918 (大正 7) 年 22 歳 同 卒業

★銀河鉄道の夜

1924 年頃初稿、1931 年頃まで推敲、1933 年の賢治の死後、草稿の形で遺された。初出は 1934 年。

1 次稿から 4 次稿まで 3 回にわたって大きな改稿が行われている。

主人公は「ジョバンニ」と「カムパネルラ」

一、午後の授業

- ・天の川 (銀河)

二、活版所

三、家

四、ケンタウル祭の夜

- ・星座早見、望遠鏡

五、天気輪の柱

- ・おおぐま座 ・こと座

六、銀河ステーション

- ・はくちょう座

七、北十字とプリオシン海岸

八、鳥を捕る人

九、ジョバンニの切符

- ・アルビレオ (はくちょう座 β 星) - サファイアとトパーズ
- ・わし座 ・くじゃく座 ・インディアン座 ・つる座
- ・双子のお星さまのお宮 - さそり座 λ (シャウラ) と ν (レサト)
- ・彗星
- ・さそり座 ・ケンタウルス座
- ・サザンクロス (みなみじゅうじ座) ・石炭袋 (暗黒星雲)

★同人雑誌「アザリア」

1917 (大正 6) 年 7 月発刊 翌年 6 月まで 6 号を発刊

中心メンバー (写真の左から、小菅健吉・保阪嘉内・河本義行・宮沢賢治)

★小泉八雲 (ラフカディオ・ハーン) - 野尻抱影 - 保阪嘉内 - 宮沢賢治

★星めぐりの歌

あかいめだまの さそり ひろげた鷲の つばさ
あをいめだめの 小いぬ、ひかりのへびの とぐろ。

オリオンは高く うたひ つゆとしもとを おとす、
アンドロメダの くもは さかなのくちの かたち。

大ぐまのあしを きたに 五つのばした ところ。
小熊のひたいの うへは そらのめぐりの めあて。

★参考とした資料など

今回の宮沢賢治の見た星空をたどるために参考にした資料などです。機会があれば、ぜひお読みください。(文中の敬称略)

●書籍

- ・「天文ガイド 2011年9月号 - 宮沢賢治と「銀河鉄道の夜」」(藤井 旭) 誠文堂新光社
※宮沢賢治と「銀河鉄道の夜」のつながりがわかりやすくまとめられています。いろいろな場所や施設も紹介しており、行ってみたいくなりました。
- ・「宮沢賢治 星の図誌」(斎藤文一・藤井 旭) 平凡社
- ・「賢治が見た星空」(藤井 旭) 作品社
※宮沢賢治と星のつながりを知るためにおすすめです。藤井旭の写真がとてもきれいです。こんなきれいな星空の下に身を置いてみたいくなります。
- ・「宮沢賢治 友への手紙」(保阪庸夫・小澤俊郎) 筑摩書房
※宮沢賢治が保阪嘉内にあてた73通の手紙が説明されています。
- ・「宮沢賢治の青春 ”ただ一人の友”保阪嘉内をめぐって」(菅原千恵子) 角川文庫
※さて、カムパネルラのモデルは誰だったのでしょうか。

●プラネタリウム番組

- ・「宮沢賢治 銀河鉄道の夜」KAGAYA
※現在、全国で公開中です。DVDも発売されています。
- ・「二人の銀河鉄道～賢治と嘉内の青春」山梨県立科学館
※現在は投影されていません。この9月、ソフィア堺で開催される国際科学映像祭で投影が決まっています。

●そのほかの資料

- ・「八雲とローレル、そして抱影のこと」(金津和義) 松江星の会誌「星月夜」復刊第2号
- ・「P. LOWELLの「極東の魂」(2)」(佐藤利男) 東亜天文学会誌「天界」1976年6月号
- ・「ラフカディオ・ハーンと天文学」(佐藤利男) 安部裕史へ書簡
※小泉八雲の来日の動機が星と関連があったとのこと。人と人はどこかでつながっているのでしょうか。

Special Thanks 野波恵子 (松江星の会) 生田佳奈子 (米子市児童文化センター)